

平成23年度

国の施策並びに予算に関する提案・要望
(国土交通省関係)

平成22年7月16日

全国知事会

1 国土保全対策の推進について

豪雨や地震などによる災害が発生しやすい地理的特性下にある我が国において、国民の生命・財産を守るためには、災害の未然防止や被害の抑止対策が重要な課題である。このため、近年の災害の動向に対応した、治水・治山・海岸保全事業等の国土保全対策を重点的、計画的に講じること。

2 鉄道整備等の推進について

- (1) 活力ある社会の実現、地域間における交流・連携の強化を図るため、整備新幹線については、整備計画どおり早期完成を図り、高速鉄道網の整備を促進するとともに、並行在来線の維持・存続のため運行形態の在り方の検討など新たな仕組みを含め所要の対策を講じること。
- (2) リニア中央新幹線の早期実現、フリーゲージトレイン（軌間可変電車）の早期実用化、新幹線、主要幹線と都市間、地方都市間の輸送の高速化及び相互連携を図ること。
- (3) 都市鉄道等の整備を促進し、鉄道輸送の強化に努めるとともに安全性確保・向上を図ること。
- (4) 生活バス路線、地方の鉄道路線の維持・確保や離島航路・空路の維持・拡充など、地域の実情を踏まえた適切な支援を講じること。

3 観光振興対策の推進について

- (1) 観光立国確立に向け、地方空港・港湾における訪日観光客の入国手続きについては、短時間のスムーズな入国審査を始めとした手続の改善等を進めるとともに、受入体制の整備を促進すること。
- (2) 休暇取得の分散化については、金融・物流・製造等の産業や地域の祭事の実施等に問題が生じないように慎重に十分な検討を行うこと。

4 高速道路の無料化等について

- (1) 高速道路の無料化については、総合的な交通体系の在り方を明確にした上で、今後の高速道路の整備や他の公共交通機関との関係、均衡の取れた地域振興や環境に及ぼす影響など総合的に検討すること。
- (2) 上限料金制など料金割引施策については、既存高速道路ネットワークの有効活用を図るため、地方の意見を踏まえ、利用者の視点に立った料金体系の実現に向け、本四架橋を含め、バランスのとれた効果的な料金施策を講じること。
- (3) 高速道路無料化等により影響を受けるフェリー、高速バス等の公共交通機関に対して、十分な対策を講じること。

5 航空路線の維持・充実について

航空路線が日本各地の産業や経済及び住民の生活、さらには日本経済全体に果たしている影響の大きさにも十分配慮し、全国の航空ネットワークの維持・充実について適切な対応を図ること。

6 地域の活性化について

- (1) 過疎地域、山村、離島等特定地域の地理的、自然的特性を生かした自立的発展を図り、人口の地方定住を促進し、また美しい自然環境や文化を維持していくため、特定地域の振興を図るための施策を推進すること。
- (2) 地域における科学技術の振興は、活力ある地域づくり、さらには我が国全体の科学技術の高度化・多様化に結びつくものであり、産学官の連携の促進など、地域における科学技術の振興の充実に向けた支援策を積極的に推進すること。